

## 平成 26 年度 九州地区懇話会活動報告

税田慶昭（北九州市立大学）

平成 26 年度の九州地区懇話会は発達コロキウム「気になる子どもたちの理解と支援」を実施した。糸島市子育て支援センター「すくすく」を会場に 40 名ほどの参加があった。母子保健関係者や大学関係者、保育士・幼稚園教諭、心理士等支援者に多数参加いただき、実践につながる充実した研修会となった。

講師の藤吉先生には以前にも九州地区懇話会主催の研修会で講師を務めていただいたが、希望も寄せられたことから新しい知見も踏まえて地域を変えての実施となった。講演では、乳幼児健診での身体を通した親子の関わりの実践的な支援について紹介された。講演後には活発な質問が行われ、時間を延長して議論が行われた。参加者からは支援法として実践したいとの意見や、参加者の関与する乳幼児健診などでの指導の希望などの感想が聞かれた。

### ■発達コロキウム「気になる子どもたちの理解と支援」

講師 藤吉 晴美氏（たていわ病院 臨床心理士）

主催 糸島市・九州大学・日本発達心理学会九州地区懇話会

日時 平成 27 年 2 月 24 日（火）18：30～20：00

会場 糸島市子育て支援センター「すくすく」2 階（福岡県糸島市前原東二丁目 1—2 5）

テーマ『赤ちゃんのからだに視点をあてた 4 か月健診の試み』

藤吉先生は、福岡県直方市の 4 か月健診において、臨床心理士として赤ちゃんの成長発達とお母さんの育児を支援しておられます。4 か月の赤ちゃんのからだの動きに着目することで、“気になる赤ちゃん”を早期に発見し、赤ちゃんと母親を継続支援する心理援助に取り組んでおられます。保育園・幼稚園や学校で実践されている方、保健所、施設、病院等に関わる方など乳児期からの発達支援に関心を持たれている方はぜひご参加ください。